



# みつくら



## 《 北米産大豆 》

### 14/15年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が6月11日発表した、14/15年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は米国、ブラジルで収穫面積の増加と単収の上昇により両国で史上最高になることなどから、世界全体で前年度を上回り、史上最高となる見込みです。また、消費量も中国、アルゼンチンなどで増加し史上最高になる見込みですが、世界全体の生産量が消費量を上回り、期末在庫は前年度より上昇する見込みとなっています。

米国大豆生産・需給予測によれば、生産量が昨年から約10%ほど増加する予測。消費量と輸出量は微増の予測となり、期末在庫率は9.4%となる予測となっています。

### 14/15年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	2億9,999万t	(対前年比	5.7%増)
消費量	2億8,063万t	(対前年比	3.9%増)
期末在庫量	8,288万t	(対前年比	23.4%増)
期末在庫率	29.5%	(対前年度差	4.7ポイント増)

### 14/15年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	9,893万t	(対前年比	10.5%増)
消費量	4,967万t	(対前年比	1.7%増)
輸出量	4,423万t	(対前年比	1.6%増)
期末在庫量	884万t	(対前年比	160.0%増)
期末在庫率	9.4%	(対前年度差	5.7%増)



### ○14/15年米国大豆作付状況

米農務省が6月9日に発表した、6月8日現在の米国大豆作付率は、主要18州平均で87%（前週78%、前年53%、平年81%）となっています。昨年対比で34ポイント、平年比でも6ポイントほど高い進捗率となっており、順調に作付が進んでいるようです。

△米国大豆作付率

	6/8	6/1	2013年	平年		6/8	6/1	2013年	平年
アーカンソー	75	71	66	75	ミズーリ	81	76	46	66
イリノイ	92	85	60	78	ネブラスカ	99	96	92	96
インディアナ	88	81	85	80	Nカロライナ	66	57	45	58
アイオワ	98	94	58	89	ノースダコタ	84	63	66	80
カンザス	82	74	64	76	オハイオ	85	66	93	83
ケンタッキー	61	52	45	62	サウスダコタ	93	81	79	83
ルイジアナ	95	92	87	92	テネシー	63	54	45	61
ミシガン	84	61	88	84	ウィスコンシン	82	69	53	83
ミネソタ	89	75	70	89	18州平均	87	78	53	81
ミシシッピ	89	86	86	94					

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



# みつくら



## 〇14/15年米国大豆発芽率情報

米農務省が6月9日に発表した、6月8日現在の発芽率は主要18州平均で71%（前週50%、**昨年46%**、**平年81%**）となっています。作付とともに現時点では順調に進んでいるようです。

	6/8	6/1	2013年	平年		6/8	6/1	2013年	平年
アーカンソー	69	61	55	63	ミズーリ	71	56	30	46
<b>イリノイ</b>	<b>80</b>	<b>59</b>	<b>41</b>	<b>60</b>	ネブラスカ	92	72	68	81
インディアナ	76	55	67	63	Nカロライナ	56	44	34	45
<b>アイオワ</b>	<b>87</b>	<b>63</b>	<b>37</b>	<b>76</b>	ノースダコタ	40	19	23	47
カンザス	66	48	40	55	<b>オハイオ</b>	<b>59</b>	<b>31</b>	<b>73</b>	<b>64</b>
ケンタッキー	43	32	28	46	サウスダコタ	75	48	44	51
ルイジアナ	85	84	80	85	テネシー	43	32	27	42
<b>ミシガン</b>	<b>58</b>	<b>25</b>	<b>71</b>	<b>64</b>	ウィスコンシン	57	28	26	57
ミネソタ	65	38	35	68	18州平均	71	50	46	62
ミシシッピー	82	77	67	85					



## 《 国産大豆 》

### 〇平成25年産国産大豆入札情報

日本特産農産物協会が5月30日に発表した平成25年産大豆の5月入札取引結果によれば、普通大豆の平均落札価格は、**818円上昇**、同じく普通大豆の落札率は、**97.4%**となりました。全体の落札率は**96.2%**と先月から**2.2ポイント減少**しました。

2月以降続いていた大きな価格上昇は、ようやく一段落したように感じられます。しかし、地域・品種で見ると、これまで価格上昇を引っ張っていた西日本の主力品種、フクユタカの上げ幅が縮小、あるいはマイナスに動いた一方で、東北地方は、**品種、粒径、等級の差なく取引**され、まだ上昇を止めておらず、西日本の各品種との価格差が埋まる格好となりました。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	1, 168 t	940 t	80.5%
12月	2, 969 t	2, 523 t	84.9%
1月	4, 351 t	3, 886 t	89.3%
2月	7, 512 t	6, 928 t	92.2%
3月	4, 307 t	4, 149 t	96.8%
4月	3, 221 t	3, 171 t	98.4%
5月	6, 091 t	5, 859 t	96.2%
合計	29, 619 t	27, 457 t	92.7%

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>